







支出命令書 (一般)

市長 **	副市長 **	教育長 **	部長 **	次長 **	課長 	課長補佐 	係長	担当者
会計管理者 	会計課長 	課長補佐 **	係長 	担当者 **	入力 	財政課合議 **	検収者	


起票日	令和 5年 10月 10日	所 属	080100 市議会事務局
年度	令和 5 年度	会計	01 一般会計
		予算区分	0 現年度
科 目	款	01 議会費	
	項	01 議会費	
	目	01 議会費	
	事業	040000 議会調査研究事業	
	節	18 負担金、補助及び交付金	
	細節	90 その他	
	細々節	06 政務活動費	

金額	53,840 円	控除	所得税	0 円	タイムカード(出勤簿)確認
支払回数	17 回		雇用保険料	0 円	源泉徴収確認
負担行為額	1,200,000 円		その他	0 円	被服貸与台帳記載確認
支出命令済額	434,344 円		控除額合計	0 円	通勤経路及び金額確認
負担行為残額	765,656 円		請求書番号		
源泉支払内容	*****				

件名	旅費 10/25~10/26 福岡県北九州市 第18回全国市議会議長会研究フォーラム参加
----	--

摘要	
----	--

債権者等	支払方法	21 現金払	支払希望日	令和5年 10月24日
	住所			
	名称	泉大津創志会代表者 池辺 貢三		
	役職等/氏名			
	銀行/口座			
	口座名義人	債権者番号		

領収	住所	領収印	
	氏名	泉大津創志会代表者 池辺 貢三	

上記の金額を領収しました。

支払済

令和5年 10月24日

泉大津市 会計管理者 あて

支出負担行為 確認

001

負担行為番号

05-002637

伝票番号

05-011651

整理番号








05-000012-17

呼出番号

00542954



05 01 01-01-01 04-00-00 18-90-06

供	議長	副議長	局長	次長	次長 補佐	議事調 査係長	庶務 係長	主査
覧								

別記様式第5号（第4条関係）

政務活動費交付請求書

令和5年10月10日

泉大津市長
南出賢一様
(泉大津市議会議長経由)

会派名
代表者名

泉大津創志会
池辺貢三



政務活動費交付請求書

泉大津市議会政務活動費の交付に関する規則第4条の規定により、下記のとおり政務活動費を請求します。

記

交付請求額	53,840円		
内 訳	10/25～10/26 福岡県北九州市 第18回全国市議会議長会研究ファールム 参加旅費		
支払先	池辺 貢三		
予算科目	旅費	交付残額	765,656円
使用者名	池辺 貢三		

令和5年度

出張申請書

(出張)

会派名	泉大津創志会		氏名	池辺 貢三				
出発・帰庁年月日		出発 令和5年10月25日		帰庁 令和5年10月26日				
出張先(順路)		西日本総合展示場新館(福岡県北九州市小倉北区浅野三丁目8-1)						
目的及び用件		第18回全国市議会議長会研究フォーラムに参加						
区間	距離	運賃	料金	車賃	宿泊料	日当	食卓料	計
泉大津 (南海本線)	km			円	円	円	円	円
難波		円	円					
" (大阪外御堂筋線)								
新大阪		290						290
" (山陽新幹線)	555.7		特急料金 (のぞみ)		1泊 15,000	2日 7,000		
小倉		8,910	6,230				37,140	
" 復路			特急料金 (のぞみ)					
		9,690	6,230					15,920
(線)							計	53,840
(線)								
(線)								
(線)								
(線)								
(線)								
(線)								

主管課用

令和5年度

領収書兼旅費明細書

(出張)

会派名	泉大津創志会	氏名	池辺 貢三					
出発・帰庁年月日	出発	令和5年10月25日	帰庁	令和5年10月26日				
出張先(順路)	西日本総合展示場新館(福岡県北九州市小倉北区浅野三丁目8-1)							
目的及び用件	第18回全国市議会議長会研究フォーラムに参加							
区間	距離	運賃	料金	車賃	宿泊料	日当	食卓料	計
泉大津 (南海本線)	km	円	円	円	円	円	円	円
難波		490						490
" (大阪外口御堂筋線)								
新大阪		290						290
" (山陽新幹線)	555.7		特急料金 (のぞみ)		1泊	2日		
小倉		8,910	6,230		15,000	7,000		37,140
" 			特急料金 (のぞみ)					
復路		9,690	6,230					15,920
(線)							計	53,840
(線)								
(線)								
(線)								
(線)								
(線)								
(線)								
右の金額領収いたしました。				金額	¥ 53,840			
令和 年 月 日				職名	泉大津創志会			
泉大津市会計管理者 殿				氏名	池辺 貢三			













開催概要



日 時	第1日目：令和5年10月25日(水) 13時00分開会（開場・受付12:00） 第2日目：令和5年10月26日(木) 9時00分開会（開場8:30）
場 所	フォーラム会場：西日本総合展示場 新館 福岡県北九州市小倉北区浅野3-8-1 意見交換会会場：リーガロイヤルホテル小倉 4階「ロイヤルホール」 福岡県北九州市小倉北区浅野2-14-2 ※会場等へのアクセスについては、P.7「会場へのアクセス」をご参照ください。
主 催	全国市議会議長会
後 援	総務省（予定）
協 賛	全国市議会議員互助会、（有）都市企画センター
実 施	第18回全国市議会議長会研究フォーラム実行委員会
テ ー マ	統一地方選挙の検証と地方議会の課題
定 員	2,500名（予定） ・ 申込者が定員を超えた場合は、抽選を行います。 ・ 申込時に「議長優先」を選択した議長については抽選を行わず参加が決定となります。 それ以外の申込者については、抽選により「参加」「キャンセル待ち」を決定します。 ・ 議会事務局職員の申込みについては、各市区につき1名のみとさせていただきます。 ・ <u>会場のお席については、本年は指定席ではなく、自由席とする予定です。</u> ※詳細は、P.8～P.10「参加申込のご案内」をご参照ください。
参加費	1人 9,000円
備 考	今後の感染状況に応じて、中止等の場合があります。

□決 裁 ■供 覧

受発記号・番号				收受年月日	令和5年10月27日								
差出 名		泉大津創志会 池辺 貢三											
あて 名		泉大津市議会議長			提出期限								
收受文書の記号				收受文書の日付	令和5年10月27日								
件 名		報告書											
議長		副議長		事務局長		次長		合					
													
主 管	次長補佐		議事調査係長		庶務係長		主査		議				
							 						
処 理 上 の 意 見 及 び 注 意 事 項													
<p>日 時：令和5年10月25日（水）～令和5年10月26日（木）</p> <p>出張先：西日本総合展示場（新館）</p> <p>目 的：第18回全国市議会議長会研究フォーラムに参加</p>													

会派代表



報 告 書

令和5年10月27日

泉大津市議会議長 様

(会派名) 泉大津創志会

出張者氏名 池辺 貢三



下記により出張しましたので、その概要について報告いたします。

記

1. 日 時 令和5年10月25日(水)～10月26日(木)
2. 出張先 福岡県北九州市
西日本総合展示場(新館)
3. 目 的 第18回全国市議会議長会研究フォーラム
4. 報告事項 別紙添付

報告事項

総数 2,399 名の参加者により福岡県北九州市の西日本総合展示場新館で行われた、全国市議会議長会研究フォーラムに参加させて頂きました。

今回の全国市議会議長会研究フォーラムのテーマは、「統一地方選挙の検証と地方議会の課題」でした。

1 日目の基調講演では大正大学教授兼地域構想研究所長の片山善博氏より【躍動的でワクワクする市議会に】を題してご講演頂きました。

その基調講演では地方議会の現状、地方議会の重要性、最高決定機関である市議会議員選挙の投票率低下による危機感など、様々な角度より指摘を頂きました。

○日本の地方議会に欠けていることは何か

- 1、議場などの公開の場での本物の議論がない
- 2、税の議論(固定資産税や市民税など)
- 3、住民の声が聞こえない(発言機会の提供?!)

議案審議について上程される案件が通るものとされていないか

↑結果が決まっていて結論の変わらない試合を見にいくのと同じ＝市民にとっては面白くない

そもそも協議会制度の本市にとっては制度のあり方について、日常的に取り組むことのできるように今後考えていかなければならないものであると感じました。

また、財政運営の厳しい状況下であれば税率を上げることや、財政運営に見通しがつくのであれば、税率の引き下げを行うなど、住民に関心を持ってもらうためには一つの手法として考えられるが、それらを行うためには住民の声をしっかりと取り込む事が重要であると述べられていました。

この事については、例えば図書館の開館時間などを議論するとき、関心のある住民はしっかりと聞きにくる事が述べられ、その都度、様々な分野で丁寧に意見を出していく事が重要であると感じました。

また、

○現行の議会の権限を活用してもっと積極的に取り組むべきことと述べられました。

どういう事かと言いますと、職員は嘘をつかないが上手に言ってくる事がある事から、執行部が提案したものを鵜呑みにせずに、しっかりと裏どりをすること。

そのためには、市民の正確な声を裏どりすることや、意見を言いたい市民がいた時には委員会に招待する、意見の言いたい市民の会を立ち上げることなどが手法の一つであると述べられました。

また、片山氏が「もう一つのしてほしいこと」として【教育委員会への目配り】のことを述べられました。

教員が忙しすぎて、なり手不足が起こっている現状である背景の中、市独自で少人数学級の取り組みをするなど、未来を作っていく人材育成をするためにも、教育委員会への質問は増やしていくべきと述べられ、以前に教育委員会との意見交換を実施しようとしながら、未だ実施のされていない本市にとって、今後取り組むべき事項であることを強く感じました。

そして、【統一地方選挙の検証と地方議会の課題】をテーマにしたパネルディスカッションでは、コーディネーターに日本経済新聞編集委員の谷隆徳氏。

パネリストには、西南学院大学法学部教授の勢一智子氏、近畿大学法学部教授の辻陽氏 Stand by Women 代表で、女性議員のハラスメント相談センター共同代表の濱田真里氏、北九州市議会議長の田仲常郎氏により行われ、そのディスカッションでは全国的ななり手不足を指摘された上で、「女性参画の市議会も増加傾向にある」「今年度行われた統一地方選挙は過去最低の投票率」「有権者の心が離れていっているのではない

か」「政務活動費の支給・不支給の状況によって議員のやりがいにも左右することが考えられる」「議員活動が見えない状況が深刻化」など様々な現状の課題をお聞きしました。

今回のパネルディスカッションを通して、兼業の緩和のための自治法改正や政務活動費・ハラスメント問題に対する条例制定、北九州市議会が取り組んでいるドリームサミット（中学生議会）など、議員のなり手不足問題に対する課題が多くあることを改めて認識した。

全国的にそのような状況であるが、前回・前々回としっかりとした選挙を行なっている本市にとって、何が必要で何が不要でないのかを見極めながら、議会運営を行なっていかなければならないと感じました。

2日目には課題討議として、【議員のなり手不足問題への取組報告】をコーディネーターには大正大学社会共生学部公共政策学科教授の江藤俊昭氏を。事例報告者には登別市議会議長の辻弘之氏、一般社団法人WOMAN SHIFT 理事であり目黒区議会議員のたぞえ麻友氏、枕崎市議会議長の永野慶一郎氏をお招きし行われました。

本セッションの課題としては、

- ①政策競争の欠如
- ②有権者意識の危機
- ③議会の危機

をベースに進められ、「適正な議員定数」や「適正な議員報酬」についての議論が多く行われましたが、議員のなり手不足＝多様性の欠如（若者、女性などがいるから様々な視点からのチェック機能が働く）が起きているという視点で様々な事例紹介が述べられました。

前日同様に、様々な視点で様々な課題克服に向けた取り組みは、その地域にあった手法を用いて行われている事が素晴らしく感じました。

本市にとっても適正な議員定数問題や適正な議員報酬問題はその社会背景毎のテーマとなる事が考えられるが、定数削減については無投票当選を回避できるかもしれないが、定数の原則や、立候補要因を議論しない

安易な提案にはならないように、様々な角度から議論を重ねた上で合意形成を図る場が重要であると感じました。

また、市民や住民に議会への関心を持ってもらえるように、今後についても様々な取り組みに尽力していくことが不可欠であると強く感じた今回のフォーラムでありました。

最後に、今回のフォーラムで2日目のコーディネーターをされた大正大学社会共生学部公共政策学科教授の江藤俊昭氏には、改めて講師としてお招きをした研修会があってもいいのではないかと感じました。








第18回 全国市議会議長会研究フォーラム
in北九州

大阪府
泉大津市議会
議員

池辺 貢三



支出命令書 (一般)

市長 **	副市長 **	教育長 **	部長 **	次長 **	課長 	課長補佐 	係長 	担当者
会計管理者 	会計課長 	課長補佐 **	係長 	担当者 **	入力 	財政課合議 **	検収者	


起票日	令和 5年 10月 10日	所 属	080100 市議会事務局
年度	令和 5 年度	会計	01 一般会計
科目	款	01 議会費	
	項	01 議会費	
	目	01 議会費	
目	事業	040000 議会調査研究事業	
	節	18 負担金、補助及び交付金	
	細節	90 その他	
	細々節	06 政務活動費	

金額	53,840 円	控除	所得税	0 円	タイムカード(出勤簿)確認
支払回数	18 回		雇用保険料	0 円	源泉徴収確認
負担行為額	1,200,000 円		その他	0 円	被服貸与台帳記載確認
支出命令済額	488,184 円		控除額合計	0 円	通勤経路及び金額確認
負担行為残額	711,816 円		請求書番号		
源泉支払内容	*****				

件名 旅費 10/25~10/26 福岡県北九州市 第18回全国市議会議長会研究フォーラム参加

摘要

債権者等	支払方法	21 現金払	支払希望日	令和5年 10月24日
	住所			
	名称	泉大津創志会代表者 池辺 貢三		
	役職等/氏名			
	銀行/口座			
	口座名義人			債権者番号

領収	住所			領収印	
	氏名	泉大津創志会代表者 池辺貢三			

上記の金額を領収しました。

支払済

令和5年 10月24日
泉大津市 会計管理者 あて

支出負担行為 確認

001

負担行為番号

05-002637

呼出番号

伝票番号

05-011652








整理番号

05-000012-18



00542955

05 01 01-01-01 04-00-00 18-90-06

供	議長	副議長	局長	次長	次長 補佐	議事調 査係長	庶務 係長	主査
覧								


別記様式第5号 (第4条関係)

政務活動費交付請求書

令和5年10月10日

泉大津市長
南出賢一様
(泉大津市議会議長経由)

会派名
代表者名

泉大津創志会
池辺直三 

政務活動費交付請求書

泉大津市議会政務活動費の交付に関する規則第4条の規定により、下記のとおり政務活動費を請求します。

記

交付請求額	53,840円		
内 訳	10/25~10/26 福岡県北九州市 第18回全国市議会議長会研究フォーラム 参加旅費		
支払先	村田 雅利		
予算科目	旅費	交付残額	711,816円
使用者名	村田 雅利		

令和5年度

出張申請書

(出張)

会派名	泉大津創志会		氏名	村田 雅利				
出発・帰庁年月日		出発 令和5年10月25日		帰庁 令和5年10月26日				
出張先(順路)		西日本総合展示場新館(福岡県北九州市小倉北区浅野三丁目8-1)						
目的及び用件		第18回全国市議会議長会研究フォーラムに参加						
区間	距離	運賃	料金	車賃	宿泊料	日当	食卓料	計
泉大津 (南海本線) 難波	km	円 490	円	円	円	円	円	円 490
" (大阪外環御堂筋線) 新大阪		290						290
" (山陽新幹線) 小倉	555.7	8,910	特急料金 (のぞみ) 6,230		1泊 15,000	2日 7,000		37,140
" 復路		9,690	特急料金 (のぞみ) 6,230					15,920
(線)							計	53,840
(線)								
(線)								
(線)								
(線)								
(線)								
(線)								

主管課用

令和5年度

領収書兼旅費明細書

(出張)

会派名	泉大津創志会	氏名	村田 雅利
出発・帰庁年月日	出発 令和5年10月25日	帰庁	令和5年10月26日
出張先(順路)	西日本総合展示場新館(福岡県北九州市小倉北区浅野三丁目8-1)		
目的及び用件	第18回全国市議会議長会研究フォーラムに参加		

区間	距離	運賃	料金	車賃	宿泊料	日当	食卓料	計
泉大津 (南海本線) 難波	km	円 490	円	円	円	円	円	円 490
" (大阪外口御堂筋線) 新大阪		290						290
" (山陽新幹線) 小倉	555.7	8,910	特急料金 (のぞみ) 6,230		1泊 15,000	2日 7,000		37,140
" 復路		9,690	特急料金 (のぞみ) 6,230					15,920
(線)							計	53,840
(線)								
(線)								
(線)								
(線)								
(線)								
(線)								

右の金額領収いたしました。

令和 年 月 日

金額

¥ 53,840

泉大津市会計管理者 殿

職名 泉大津創志会








氏名 村田 雅利





日 時	<p>第1日目：令和5年10月25日(水) 13時00分開会（開場・受付12:00）</p> <p>第2日目：令和5年10月26日(木) 9時00分開会（開場8:30）</p>
場 所	<p>フォーラム会場：西日本総合展示場 新館 福岡県北九州市小倉北区浅野3-8-1</p> <p>意見交換会会場：リーガロイヤルホテル小倉 4階「ロイヤルホール」 福岡県北九州市小倉北区浅野2-14-2</p> <p>※会場等へのアクセスについては、P.7「会場へのアクセス」をご参照ください。</p>
主 催	全国市議会議長会
後 援	総務省（予定）
協 賛	全国市議会議員互助会、（有）都市企画センター
実 施	第18回全国市議会議長会研究フォーラム実行委員会
テ ー マ	統一地方選挙の検証と地方議会の課題
定 員	<p>2,500名（予定）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 申込者が定員を超えた場合は、抽選を行います。 ・ 申込時に「議長優先」を選択した議長については抽選を行わず参加が決定となります。それ以外の申込者については、抽選により「参加」「キャンセル待ち」を決定します。 ・ 議会事務局職員の申込みについては、各市区につき1名のみとさせていただきます。 ・ <u>会場のお席については、本年は指定席ではなく、自由席とする予定です。</u> <p>※詳細は、P.8～P10「参加申込のご案内」をご参照ください。</p>
参加費	1人 9,000円
備 考	今後の感染状況に応じて、中止等の場合があります。

□決 裁 ■供 覧

受発記号・番号		收受年月日	令和5年11月27日		
差出 名	泉大津創志会 村田 雅利				
あて 名	泉大津市議会議長			提出期限	
收受文書の記号		收受文書の日付	令和5年11月27日		
件 名	報告書				
	議長	副議長	事務局長	次長	合
					
主 管	次長補佐	議事調査係長	庶務係長	主査	
					議
処 理 上 の 意 見 及 び 注 意 事 項					
<p>日 時：令和5年10月25日（水）～令和5年10月26日（木）</p> <p>出張先：西日本総合展示場（新館）</p> <p>目 的：第18回全国市議会議長会研究フォーラムに参加</p>					

会派代表



報 告 書

令和5年11月27日

泉大津市議会議長 様

(会派名) 泉大津創志会

出張者氏名 村田 雅利



下記により出張しましたので、その概要について報告いたします。

記

1. 日 時 令和5年10月25日(水)～10月26日(木)
2. 出張先 福岡県北九州市
西日本総合展示場(新館)
3. 目的 第18回全国市議会議長会研究フォーラム
4. 報告事項 別紙添付

議題 統一地方選挙の検証と地方議会の課題

基調講演 「躍動的でワクワクする市議会に」

片山 善博 大正大学教授兼地域構想研究所長

- 地方議会をめぐる現状とこれまでの地方議会改革を検証する
- 日本の地方議会にかけていることは何か
- 現行の議会の権限を活用してもっと積極的に取り組むべきこと
- 議会の常識と市民の常識をすり合わせるー市民が首を傾げることは
- 今ふり返って議会に感謝していること

パネルディスカッション

「統一地方選挙の検証と地方議会の課題」

コーディネーター	谷 隆徳	【日本経済新聞編集委員】
パネリスト	勢一 智子	【西南学院大学法学部教授】
	辻 陽	【近畿大学法学部教授】
	濱田 真理	【Stand by Women代表 女性議員のハラスメント相談センター 共同代表】
	田仲 常郎	【北九州市議会議長】

課題討議

「議員のなり手不足問題への取組報告」

コーディネーター	江藤 俊昭	【大正大学社会共生学部公共政策学科 教授】
事例報告者	辻 弘之	【登別市議会議長】
	たぞえ 麻友	【一般社団法人WOMAN SHIFT 理事 目黒区議会議員】
	永野 慶一郎	【枕崎市議会議長】

所見 統一地方選を振り返る

投票率は低下傾向続く 41道府県議選 41.85%
294市議選 44.26%
373町村議選 55.49%

いずれも過去最低になっている。

今回の大きな特徴は女性議員の増加である。

道府県議会 当選者316人 全体の14% (前回10.4%)

市議会 当選者1457人 全体の22% (18.4%)

町村議会 当選者632人 全体の15.4% (12.3%)

依然として無投票当選が多い。

道府県議会 565人 (全体の25%)

市議会 237人 (全体の3.6%)

町村議会 1250人 (全体の30.3%)

21市町村では定数割れ (前は8町村)

同じ無投票でも15年前とは様相は異なっている。

統一地方選挙の検証と地方議会の課題

我が国の総人口は、2008年をピークに減少に転じており、今後も人口減少が加速するものと推計されている。都道府県別に見ると、東京圏(東京都・埼玉県・千葉県・神奈川県)・沖縄県など9都府県以外においては、人口減少が続いている。

2040年には、団塊の世代及び団塊ジュニア世代が高齢者となる。全人口の3人に1人が高齢者となり、人口ピラミッドはいわゆる棺おけ型になってくる。

第33次地方制度調査会「多様な人材が参画し住民に開かれた地方議会の実現に向けた対応方策に関する答申」

第1 議会についての現状認識と課題

地方公共団体の経営資源がますます制約される一方、住民ニーズや地域課題は多様化・複雑化し、地域において合意形成が困難な課題が増大することが見込まれるが、そのような中で、資源制約を乗り越え、持続可能で個性豊かな地域社会を形成していくためには、地域の多様な民意を集約し、広い見地から個々の住民の利害や立場の違いを包摂する地域社会のあり方を議論する議会の役割がより重要となる。

第2 議会における取組の必要性

- ① 多様な人材の参画を前提とした議会運営
- ② 住民に開かれた議会のための取組
- ③ 議長会等との連携・国の支援

第3 議会の位置付け等の明確化

「議会が果たすべき役割、議員の活動のあり方等を含めて、住民との議論も重ねながら、地域の実情に応じて、議会の目指すべき姿を明確化していく取組は数多くの地域で見られる。その上で、議会の目指すべき姿が議会基本条例などの形で定められることもある。これらは議会の活性化に向けて、住民とともに持続的な取組を行っていく観点から意義があるものと考えられる」

多様な地方議会

- ・『日本の地方議会』での主張…人口規模に応じて多様な執政制度の選択を可能に
- ・同じ市といえど、人口370万人の市から1万人を切る市まで多様 それに合わせて、議員報酬の額も多様。議員報酬が月額20万円を切る自治体も。
- ・人口規模が大きな自治体では、議員報酬だけで生活できる、つまり「専業化」できるが、そうでない自治体では「兼業」しないと生活できない。

議員のなり手不足問題における小規模自治体の課題

- ・首長と議会とが同じ住民の代表として対峙する「二元代表制」としての理想は、議会議員についても議会活動に専念できる「専業化」の環境を整えること。
- ・しかし、実際問題として、議員報酬を増額することは困難。小規模自治体ほど財政力指数も小さく、一般会計に占める議会費の割合が大きい傾向。
- ・議会事務局職員の数も人口規模が小さいほど少ない傾向にあり、議員による政策調査や立案をサポートする機能にも限界。
- ・議員としてのやりがい直結する政務活動費の額も、小規模自治体では少ないか不支給。そうすると、自らの懐から持ち出して議員活動するよりも、何もしない方が、手元に金銭が残ることに・・・
- ・結論として、小規模自治体において議会活動に専念することは相当な困難に。
- ・政令市でなくても、人口規模が大きいほど、政党化する傾向。
- ・政党化すれば、有権者からすれば、政党の提示する政策を手がかりにでき、選択の範囲を絞りやすくなるため、望ましい側面もある。

一方で特定のイシューは後景に退きやすくなり、そうしたイシュー特化型の候補者が当選することが難しくなりやすい可能性が高い。

- ・大規模自治体ほど、広報費に多額を支出する傾向がある
つまり現職議員は、議会での実績を有権者に広く知らしめることができる。逆に、新人候補にとっては、そのような機会もお金もないため、新人候補が参入しにくい状況になる。

ーハラスメントの実態から考えるー

地方議員に対するハラスメントの現状

- ・立候補を検討中、または立候補準備中に、有権者や支援者、議員等からハラスメントを受けた人は、
全体の61.8%、男性の58.0%、女性の65.5%
- ・議員活動や選挙活動中に、有権者や支援者、議員等からハラスメントを受けた人は、
全体の42.3%、男性の32.5%、女性の57.6%

実際にどんな被害があるのか。

有権者からのハラスメント

街頭演説、不審な電話、住所公開によるプライバシー侵害、つきまとい・ストーカー、SNSでの誹謗中傷、罵倒や叱責。

都道府県議会の主なハラスメント対策

- ① 議員向け研修
- ② 倫理規定の整備
- ③ 議会に相談窓口

相談体制や議会内のルール作りが重要

何か起きた時に個々人で解決するのではなく、仕組みの中で解決できるようにしておく。政党や各議会での相談窓口や第三者機関の設置などが、今後必要となってくる。

ハラスメント案件が議会や政党に持ち込まれた際に、ルールや基準を設けていない場合、対応が非常に困難になる。近年はハラスメント問題に対するメディアや市民の関心が高く、適切な対応がされない場合の社会的制裁は大きい。ハラスメント倫理条例等の制定を行い、ルール作りをしておくことが重要である。

<統一地方選挙からみる地方政治の現状>

政治の劣化は進んでいる。投票率は、一部の例外を除いて過去最低となっている。無投票当選も深刻化した。道府県議会議員選挙では無投票当選者率25.0%、町村議会議員選挙30.8%、となっている。立候補者が定員を下回る「定数割れ」が続出した。前回

(8町村)の2.5倍となる20町村に上がったことも今回の統一地方選挙の特徴だ。なお、新たな傾向もみられた。女性議員割合が増加し過去最高となった。道府県議会議員選挙では14.0%、市町村議会議員選挙では22.0%、町村議会議員選挙では15.4%、このように、女性議員当選者率は増加しているがいまだ半数には程遠い。

*地方政治を見る視点：政治の劣化だけではなく、政治の台頭（議会改革等）。後者を活用し前者を克服する視点を。

<国政を侵食する草の民主主義の衰退>

今回の統一地方選挙は、地域民主主義の劣化を示しただけではない。国政を侵食してもいる。

① 政治を身近に感じさせない。

「民主主義の学校」である自治体の政治の衰退は、国政を侵食することになる。なぜなら、政治は生活の課題を解決する1手法であり、それにかかわることで政治の威力を実感する。生活に最も身近な自治体選挙が遠くに感じられ、政治との接点を切断とはいわないまでも遠くなれば、国政への政治も空虚になる。日本の場合、福祉、教育、社会資本、環境汚染等、さまざまな政策は自治体が主となり実行することであっても、基本法等による自治体への計画の義務付け、補助金による誘導などにより、国政と自治体は密接に関連している。地域民主主義の劣化は、この関係のイメージを切断する。そこで、国政は生活感覚とは切り離され、イデオロギー対立に焦点が矮小化される。

② 政権交代など国政のダイナミズムの減退

無投票当選者率の増加の1つの要因は、政党による地域活動の消極化がある。ようするに、自治体での活動を積極的に行わない、いわば、地域という政党組織における足腰を鍛えないで、国政における政権交代を可能にすることはあり得ない。その意味で、地域民主主義の劣化は国政の劣化に連動する。

<議会をめぐる議員のなり手不足の要因>

議員のなり手不足の打開策を探るにはまずもってその要因を探ることは必要である。議会・議員に直接かかわる要因とともに、その結果であり原因となっている日本の政治構造の変化を読み解くことも重要である。つまり、議員のなり手不足は、議会・議員に直接かかわる要因によるが、それは日本の政治構造の変化と密接に関連している。したがって、総合的な要因分析は必要になっている。

<議員のなり手不足の解消の打開策の前提：議会の存在意義を確認する>

① 「住民自治の根幹」としての議会

「住民自治の根幹」であるがゆえに、地域経営にとって重要な権限はすべて議会が担う。

② 議会の存在意義（なぜ大きな権限が）

多様性に基づく「公開と討議」、それを経た議決

<議員のなり手不足問題の正攻法と豊富化>

議員のなり手不足の要因と解消の正攻法

<なり手不足の要因>

- ・ならない要因：議会・議員の魅力が伝わらない、条件の悪さ（低い議員報酬）
- ・なれない要因：地域力の低下、法律による縛り（兼業禁止など）

<解消の正攻法>

住民の福祉の向上（地域力アップ）→議会・議員の魅力の周知→報酬増額等の条件整備→法律改正（兼業禁止の緩和・議員の位置付けの明確化）（厚生年金加入の検討）

<解消の正攻法の豊富化>

新しい層の開拓：女性・若者（会議規則改正、オンライン活用、ハラスメント防止条例制定等）

条件整備：新しい原価方式の導入（報酬増額）、政務活動費の充実等。

<解消方途の誤解>

住民への説明なき議員報酬増額、定数削減、恒常的な夜間議会、住民総会。

<なり手不足解消の特効薬としての政治進出>

なり手不足解消の特効薬として女性の政治進出がある。もちろん女性の政治進出はなり手不足解消のためでない。議会の存在意義である多様性にとって有用である。

内閣府『政治分野における男女共同参画の推進に向けた地方議会議員に関する調査研究報告書』では女性議員の増加を阻む3つの課題として「政治は男性のものという意識」「議員活動を家庭生活の両立を支援する環境の未整備」「経済的負担が大きい」が提示されている。女性議員の進出は、多様性の実現である。この視点は、年齢構成、性別、障がいの有無といった属性の多様性の議論へとつながる。

地方議会において女性議員の増加を阻む3つの課題と今後の方向性

<政治は男性のものという意識がある>

- ・政党や団体等が性別に関わらず能力に基づいて立候補を要請する。
- ・女性人材育成、研修機会の付与を行う。
- ・ハラスメントや差別の防止に関する研修を行う。

<議員活動と家庭生活の両立環境が整備されてない>









- ・休暇や休業制度についての明文の規定を設ける。
- ・議会に託児所や授乳室を整備する。

<経済的な負担が大きい>

- ・政党や団体等が性別に関わらず能力に基づいて経済的支援をする。
- ・議員とその他の職業を兼業できるようにする、または、兼業しやすい仕組みを導入する。

今回の全国市議会議長会研究フォーラムは統一地方選挙の検証と地方議会の課題で私は今後多様な経験をした多様な世代が多様に参画する議会、社会経験を活かせる議会、議員経験を活かせる社会へと泉大津でも取り入れ考えていきたいと思えます。

支出命令書 (一般)

市長 **	副市長 **	教育長 **	部長 **	次長 **	課長 	課長補佐 	係長 	担当者 
会計管理者 	会計課長 	課長補佐 **	係長 	担当者 **	入力 	財政課合議 **	検収者 /	


起票日	令和 5年 10月 10日	所 属	080100 市議会事務局
年度	令和 5 年度	会計	01 一般会計
		予算区分	0 現年度
科 目	款	01 議会費	
	項	01 議会費	
	目	01 議会費	
	事業	040000 議会調査研究事業	
	節	18 負担金、補助及び交付金	
	細節	90 その他	
	細々節	06 政務活動費	

金額	53,840 円	所得税	0 円	タイムカード(出勤簿)確認
支払回数	19 回	雇用保険料	0 円	源泉徴収確認
負担行為額	1,200,000 円	その他	0 円	被服貸与台帳記載確認
支出命令済額	542,024 円	控除額合計	0 円	通勤経路及び金額確認
負担行為残額	657,976 円	請求書番号		
源泉支払内容	*****			

件名	旅費 10/25~10/26 福岡県北九州市 第18回全国市議会議長会研究フォーラム参加
----	--

摘要	
----	--

債権者等	支払方法	21 現金払	支払希望日	令和5年 10月24日
	住所			
	名称	泉大津創志会代表者 池辺 貢三		
	役職等/氏名			
	銀行/口座			
	口座名義人			債権者番号

領収住所		領収印	
領収氏名	泉大津創志会代表者 池辺 貢三		

上記の金額を領収しました。

支払済

令和5年 10月24日

泉大津市 会計管理者 あて

支出負担行為 確認

001

負担行為番号

05-002637

呼出番号

伝票番号

05-011653








整理番号

05-000012-19



00542956

05 01 01-01-01 04-00-00 18-90-06


供	議長	副議長	局長	次長	次長 補佐	議事調 査係長	庶務 係長	主査
覧								

別記様式第5号（第4条関係）

政務活動費交付請求書

令和5年10月10日

泉大津市長
南出賢一様
(泉大津市議会議長経由)

会派名 泉大津創志会
代表者名 池辺直之 

政務活動費交付請求書

泉大津市議会政務活動費の交付に関する規則第4条の規定により、下記のとおり政務活動費を請求します。

記

交付請求額	53,840円		
内 訳	10/25～10/26 福岡県北九州市 第18回全国市議会議長会研究フォーラム 参加旅費		
支払先	井上 信久		
予算科目	旅費	交付残額	657,976円
使用者名	井上 信久		

令和5年度

出張申請書

(出張)

会派名	泉大津創志会		氏名	井上 信久				
出発・帰庁年月日		出発 令和5年10月25日		帰庁 令和5年10月26日				
出張先(順路)		西日本総合展示場新館(福岡県北九州市小倉北区浅野三丁目8-1)						
目的及び用件		第18回全国市議会議長会研究フォーラムに参加						
区間	距離	運賃	料金	車賃	宿泊料	日当	食卓料	計
泉大津 (南海本線) 難波	km	円 490	円	円	円	円	円	円 490
" (大阪外環御堂筋線) 新大阪		290						290
" (山陽新幹線) 小倉	555.7	8,910	特急料金 (のぞみ) 6,230		1泊 15,000	2日 7,000		37,140
" 復路		9,690	特急料金 (のぞみ) 6,230					15,920
(線)							計	53,840
(線)								
(線)								
(線)								
(線)								
(線)								
(線)								

主管課用

令和5年度

領収書兼旅費明細書

(出張)

会派名	泉大津創志会	氏名	井上 信久
出発・帰庁年月日	出発 令和5年10月25日	帰庁 令和5年10月26日	
出張先(順路)	西日本総合展示場新館(福岡県北九州市小倉北区浅野三丁目8-1)		
目的及び用件	第18回全国市議会議長会研究フォーラムに参加		

区間	距離	運賃	料金	車賃	宿泊料	日当	食卓料	計
泉大津 (南海本線) 難波	km	円 490	円	円	円	円	円	円 490
" (大阪外口御堂筋線) 新大阪		290						290
" (山陽新幹線) 小倉	555.7	8,910	特急料金 (のぞみ) 6,230		1泊 15,000	2日 7,000		37,140
" 復路		9,690	特急料金 (のぞみ) 6,230					15,920
(線)							計	53,840
(線)								
(線)								
(線)								
(線)								
(線)								
(線)								

右の金額領収いたしました。

金額	¥	5	3	8	4	0
----	---	---	---	---	---	---

令和 年 月 日

泉大津市会計管理者 殿

職名 泉大津創志会








氏名 井上 信久





日 時	<p>第1日目：令和5年10月25日(水) 13時00分開会（開場・受付12:00）</p> <p>第2日目：令和5年10月26日(木) 9時00分開会（開場8:30）</p>
場 所	<p>フォーラム会場：西日本総合展示場 新館 福岡県北九州市小倉北区浅野3-8-1</p> <p>意見交換会会場：リーガロイヤルホテル小倉 4階「ロイヤルホール」 福岡県北九州市小倉北区浅野2-14-2</p> <p>※会場等へのアクセスについては、P.7「会場へのアクセス」をご参照ください。</p>
主 催	全国市議会議長会
後 援	総務省（予定）
協 賛	全国市議会議員互助会、（有）都市企画センター
実 施	第18回全国市議会議長会研究フォーラム実行委員会
テ ー マ	統一地方選挙の検証と地方議会の課題
定 員	<p>2,500名（予定）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 申込者が定員を超えた場合は、抽選を行います。 ・ 申込時に「議長優先」を選択した議長については抽選を行わず参加が決定となります。それ以外の申込者については、抽選により「参加」「キャンセル待ち」を決定します。 ・ 議会事務局職員の申込みについては、各市区につき1名のみとさせていただきます。 ・ <u>会場のお席については、本年は指定席ではなく、自由席とする予定です。</u> <p>※詳細は、P.8～P10「参加申込のご案内」をご参照ください。</p>
参加費	1人 9,000円
備 考	今後の感染状況に応じて、中止等の場合があります。

□決 裁 ■供 覧

受発記号・番号				收受年月日	令和5年11月6日				
差出 名		泉大津創志会 井上 信久							
あて 名		泉大津市議会議長			提出期限				
收受文書の記号				收受文書の日付	令和5年11月4日				
件 名		報告書							
議長		副議長		事務局長		次長		合	
									
主 管	次長補佐		議事調査係長		庶務係長		主査		議
									
処 理 上 の 意 見 及 び 注 意 事 項									
<p>日 時：令和5年10月25日（水）～令和5年10月26日（木）</p> <p>出張先：西日本総合展示場（新館）</p> <p>目 的：第18回全国市議会議長会研究フォーラムに参加</p>									

R5.11.4(土)送付あり
R5.11.7(火)再送付あり
(修正)

会派代表



報 告 書

令和5年11月4日

泉大津市議会議長 様

(会派名) 泉大津創志会

出張者氏名

井上 信久



下記により出張しましたので、その概要について報告いたします。

記

1. 日 時 令和5年10月25日(水)～10月26日(木)
2. 出張先 福岡県北九州市
西日本総合展示場(新館)
3. 目 的 第18回全国市議会議長会研究フォーラム
4. 報告事項 別紙添付

報告事項

第18回 全国市議会議長会研究フォーラム —統一地方選挙の検証と地方議会の課題—

【第1日目 2023年10月25日（水）】

<基調講演>

片山 善博 氏[大正大学 教授 兼 地域構想研究所 所長]
「躍動的でワクワクする市議会に」

- 地方議会をめぐる現状とこれまでの地方議会改革を検証する
 - ・ものごとをきめるのは、国会、議会である。
 - ・決めたことを執行するのは、行政機関である。
- 日本の地方議会に欠けていることは何か
 - ・地方議会が岐路に立っている。
 - ・議員の成り手が不足している。
- 現行の議会の権限を活用しもっと積極的に取り組むべきこと
 - ・委員会提案の議案を作成し通す。
 - ・予算案を修正する。
対立するのではなく行政機関との共同作業で対応を進める。
違った観点で予算案を見る。そして認識を変える。
- 今ふり返って議会に感謝していること
 - ・行政機関と議会のみなさんが課題に対して協力してくれたこと。

【感想】

鳥取県知事時代の頃の議会改革や行財政改革の内容を中心に話しを頂いた。任期中、色々な課題に直面しそれを乗り越えることが出来たのは、行政機関と議会のみなさんが協力してくれたからとのこと。

それは、片山さんの人柄で実現できたのかもしれない。

ALL鳥取の取り組みは素晴らしい成果をあげた。

<パネルディスカッション>

「統一地方選挙の検証と地方議会の課題」

◆コーディネーター

谷 隆徳 氏[日本経済新聞 編集委員]

◆パネリスト

勢一 智子 氏[西南学院大学 法学部 教授]

辻 陽 氏 [近畿大学 法学部 教授]

濱田 真理 氏[S t a n d b y W o m e n 代表]

女性議員のハラスメント相談センター共同代表]

田仲 常郎 氏[北九州市議会 議長]

<発表>

谷 隆徳 氏[日本経済新聞 編集委員]

「統一地方選挙を振り返る」

■今回の統一地方選挙の特徴

—今回の統一地方選挙の特徴（その1）—

投票率の低迷

41 都道府県議選：41.85%

294 市議選：44.26%

373 町村議選：55.49%

いずれも過去最低となった。

—今回の統一地方選挙の特徴（その2）—

大きな特徴として女性議員の増加である。

市議会当選者 1,457人 全体の22% (18.4%)

※()内は前回の結果

—今回の統一地方選挙の特徴（その3）—

無投票当選が多い

無投票当選者

市議会 237人 全体の3.6%

町村議会 1,250人 全体の30.3%

21市町村では定数割れ※前回は8町村

<発表>

勢一 智子 氏[西南学院大学 法学部 教授]

「統一地方選挙の検証と地方議会の課題」

■人口減少社会の本格的到来が地域にもたらすもの

我が国の総人口は2008年をピークに減少に転じており、今後も人口減少が加速すると推計されている。

2040年には、団塊の世代及び団塊のジュニア世代が高齢者となり、全人口の3人に1人が高齢者となる。

■「多様な人材が参画し住民に開かれた地方議員の実現に向けた対応方策に関する答申」

第1 議会についての現状認識と課題

今後、我が国全体の人口構造は大きく変容し、大都市圏を含め、全国的に人口減少と高齢化が進行する。地方公共団体の経営資源がますます制約される一方、住民ニーズや地域課題は多様化・複雑化し、地域において合意形成が困難な課題が増大することが見込まれる。そのような中で、資源制約を乗り越え、持続可能で個性豊かな地域社会を形成していくためには、地域の多様な民意を集約し、広い見地から個々の住民の利害や立場の違いを包摂する地域社会の在り方を議論する議会の役割がより重要となる。

第2 議会における取組の必要性

各議会において、次のような取組を行っていくことが必要。

①多様な人材の参画を前提とした議会運営

・勤労者等の議会参画

→夜間・休日等の議会開催を実施

・女性や若者・育児・介護に携わる者の議会参画

→ハラスメント相談窓口の設置

会議規則における育児・介護の取り扱いの明確化等

②住民に開かれた議会のための取組

・デジタル技術を活用した情報発信の充実

→SNSの活用、タブレット端末によるペーパーレス化

にあわせた情報公開の充実等

・住民が議会に参画する機会の充実

→住民と政策や議会運営を考える場

(例：政策サポーター、議会モニター)

③議長会等との連携・国の支援

→ハラスメント対策に関する議長会の調査

■人口減少社会における地方議会の役割

・人口減少社会で重要なことは

限られた地域資源の投資先を厳選するため、地方議会で検討を進め地域の将来像を描いていく。

■多様な人材の議会への参画

・議員の多様化

立候補環境と議会環境の整備。

議員のモチベーション醸成。

議会での多様性の確保・繁栄。

・より多くの人々が議員になるために

多様な経験を積んだ多様な世代が多様に参画する議会

社会経験を活かせる議会へ + 議員経験を活かせる社会へ

→社会全体に変革を

<発表>

辻 陽 氏 [近畿大学 法学部 教授]

■多様な地方議会

・同じ「市」という自治体といえ、人口370万人から人口1万人を切る自治体もある。それにあわせて議員報酬も多様。月額20万円を切る自治体もある。

・人口規模が大きな自治体では、議員報酬だけで生活可能。

つまり「専業化」であるが、そうでない自治体では「兼業」しないと生活できない。

■議員の成り手不足における小規模自治体の課題

・人口規模が大きな自治体では、議員報酬だけで生活可能。

つまり「専業化」であるが、そうでない自治体では「兼業」しないと生活できない。

・政務活動費については、小規模自治体では、額が少ないか不支給。

そうなると、自ら持ち出しで議員活動をすることになり、何もしないことでお金がかからないという考えに。

・結論として、小規模自治体において議会活動に専念することは相当困難な状況である。

■議員の成り手不足における大規模自治体の課題

・多くの市議会では、市全体として大選挙区制が採用されているため、比較的少ない票数で当選が可能。

・定数が大きいほど、特定の 이슈（子育て、障がい者、図書館など）に注目した議員が当選しやすい。

・政令市でなくても、人口規模が大きいほど、政党化する傾向がある。

<発表>

濱田 真理 氏 [Stand by Women 代表]

女性議員のハラスメント相談センター共同代表]

「統一地方選挙の検証と地方議会の課題」

ーハラスメントの実態から考えるー

■地方議員に対するハラスメント現状

・立候補を検討中、または立候補準備中に、
有権者や支援者、現職議員等からハラスメントを受けた人は、
→全体：61.8%、男性：58.0%、女性：65.5%

・議員活動や選挙活動中に、
有権者や支援者、現職議員等からハラスメントを受けた人は、
→全体：42.3%、男性：32.5%、女性：57.6%

■活動中に受けたハラスメントの内容

- ①性的、もしくは暴力的な言葉（ヤジを含む）による嫌がらせ
- ②性別に基づく侮辱的な態度や発言
- ③SNS、メール等による中傷、嫌がらせ
- ④身体的暴力やハラスメント
- ⑤年齢・婚姻状況、出産や育児等プライベートな事柄についての批判や中傷

■有権者からのハラスメント

- ・街頭演説時の罵倒、侮辱的な発言
- ・不審な電話
- ・住所公開によるプライバシー侵害
- ・つきまとい・ストーカー

- ・ SNSでの誹謗中傷
- ・ 罵倒や叱責

■地方議員が回答したハラスメントをなくすための有効な取組

- ・ 選挙管理事務局、政党、議会事務局での相談窓口の設置
- ・ 議員、支援者、有権者への啓発や研修
- ・ 監視機関の設置

■相談体制や議会内のルール作り

何か起きた時に個々人で解決するのではなく、仕組みの中で解決できるようにしておく。政党や議会での相談窓口や第三者機関の設置などが、今後必要となってくる。

ハラスメント案件が議会や政党に持ち込まれた際に、ルールや基準を設けていない場合、対応が非常に困難になる。近年はハラスメント問題に対するメディアや市民の関心が高く、適切な対応がされない場合の社会的制裁は大きい。ハラスメント倫理条例等の制定を行い、ルール作りをしておくことが重要。

<発表>

田中 常郎 氏[北九州市議会 議長]

～北九州市議会の取組み～

■議員とまちを語ろう

「カフェトーク in 北九州 議員とまちを語ろう」

市民に市議会をもっと身近に感じてもらうため、北九州市の課題をテーマにし、議員と市民との意見交換を行うイベント。

YouTubeにてLive配信を実施。

■北九州ドリームサミット（中学生議会）

北九州市内の中学生による議会を開催。

■北九州市における議員立法

- ・ 北九州市商店街の活性化に関する条例
- ・ 北九州市中小企業振興条例
- ・ 北九州市子ども読書活動推進条例
- ・ 北九州市官民データ活用推進基本条例
- ・ 北九州市子ども虐待から守る条例

【第2日目 2023年10月26日（木）】

<課題討議>

「議員のなり手不足問題への取組報告」

◆コーディネーター

江藤 俊昭 氏[大正大学 共生学部公共政策学科 教授]

◆パネリスト

辻 弘之 氏[登別市議会 議長]

たぞえ 麻友 氏 [一般社団法人 WOMAN SHIFT 理事]

永野 慶一郎 氏[枕崎市議会 議長]

<発表>

江藤 俊昭 氏[大正大学 共生学部公共政策学科 教授]

無投票当選は、市長選挙では28.4%、区長選挙では9.1%、市議会議員選挙では3.6%となった。無投票当選は、政治の劣化を招いているといわれる。この点については、何が問題なのか検証する必要がある。

投票率の低下も大きな問題である。地方政治が重要になってきているにも関わらず、投票率が低下し、政治の衰退が進行している。

<本日のセッション>

パート1：議員の成り手不足問題の具体的な取り組み。

パート2：議員の成り手不足問題への取り組みの成果と課題。

パート3：議員の成り手不足問題を克服するための地方議会への提言。

<発表>

辻 弘之 氏[登別市議会 議長]

「なり手」を育てる

地方議会未来への種まき研究会

～地方議員養成講座～

GREENSEED21

戦後50年目の1995年、北海道庁職員と地方議員が集い結成

「地方で生きる人たちの幸せ」のために「自ら行動を起こし・改善する」活動を続けている。

■地方議員養成講座

<統一選での立候補者>

- ・統一選から外れた受講者で立候補希望者を入れると7割強
- ・受講生と運営議員との個別のやり取りも増え選挙応援にも
- ・当選後はグリーンシード21へ入会し関係を継続

<受講者の声>

- ・選挙準備について、現職から経験則を基に、心構えも含め具体的に教えていただいたことが良かった。
- ・まだ立候補を決めていなかったが、相談できる環境が欲しくて受講。現在は気兼ねなく日頃の悩みや気持ちを吐露できる環境となっている。
- ・病院職員兼務のためオンラインを中心に受講。

議員のなり手不足解消のため、議員報酬を上げたり、様々な取り組みが議論されているが、まずは立候補や政治へのハードルをさげてくれる本講座は有意義である。

■議員の成り手不足の要因

- ・無関心、無理解
- ・報酬

街の規模により様々な要因はあるが、私たち自身が

- ・次世代の地域リーダー
- ・「想い」を持つ人材

の発掘に積極的でないのでないか。

■これからの取組について

<育てる>

「私たちが担うべき役割」

- ・住民自治の実現にむけて多様な価値観が反映される議会をつくるため
- ・「議会」の社会的課題に対する解決能力をあげるため

<働き方>

「社会変革・制度改正」

- ・優秀な人材を確保するため
- ・地方議員のキャリアを評価したセカンド／パラレルキャリア
- ・フリーランスと同程度の社会保障、税制措置

<発表>

たぞえ 麻友 氏 [一般社団法人 WOMAN SHIFT 理事
目黒区議会 議員]

一般社団法人 WOMAN SHIFT

「若手女性議員のネットワーク&ママの議員インターン」

■ ミッション

届きづらい情勢の声を政治につなぎ、1つずつ実現していく

■ 3つの課題とWOMAN SHIFTの事業

課題①：そもそも議員になろうと思わない

- ・ 議員を知らない
- ・ かっこいいと思わない
- ・ やりがいがわからない
- ・ 何をやっているかわからない

対策：<女性議員ブランディング>

- ・ 女性議員増やそうプロジェクト
- ・ 女性議員の夫インタビュー
- ・ 大学でのWOMAN SHIFTとしての講演の実施

課題②：議員の成り方を知らない

- ・ 特殊な世界
- ・ 実際の仕事内容を知らない
- ・ 議員の選挙の話しを聞く機会が少ない

対策：<WOMAN SHIFTシスターズ>

- ・ 2019年統一地方選挙を目指す若手女性向けの講座を実施
→受講者2名中2名が当選
- ・ 2021年選挙向け講座を実施
→受講者5名中1名が立候補し当選

課題③：議員になってもやめてしまう

- ・ 独特のルール
- ・ 男社会
- ・ ロールモデルがない
- ・ 広い意味で「政治経験」が少ない
- ・ 清濁併せのむのが苦手
- ・ 政策実現ができない

対策：若手女性議員向け勉強会

- ・「政策を実現するため」のスキルとワザを共有しあう勉強会を開催
- ・全国研究を実施

■ママの議員インターン

子育てをしている女性（主に育休中のワーキングマザーや幼稚園・小学生ママ）を対象に最低8ヶ月からの期間、自治体議会職員（市議会議員、区議会議員、町議会議員など）のインターン生として活動を行う。

※受け入れ先の議員によって活動内容は異なる。

<活動内容の事例>

① 自治体行政に仕組みや議員の仕事を学ぶ

議会の傍聴、議員の勉強会や会議への同席を通して、自治体行政の仕組みや議員の活動内容を理解する。

② イベントを企画し市民課題を解決する

市民向けのイベントの企画・運営に携わり、市民の課題解決や市民同士の交流の機会をつくる。

③自治体サービスの調査・フィードバックを行う

自治体が提供しているサービスや施設を実際に利用・調査し、課題点や改善提案のフィードバックを行う。

<発表>

永野 慶一郎 氏[枕崎市議会 議長]

「議員のなり手不足問題への取組報告」

～無投票選挙の克服をめざした4年間の歩み～

■枕崎市議会の現状

令和5年5月1日から

枕崎市議会議員12名（うち4名は女性議員）

鹿児島県内で女性議員の比率が一番高い議会

■無投票当選という結果に

- ・平成31年（2019年）4月統一地方選挙にて
枕崎市議会選挙の初の無投票
- ・直前まで市議選では異例の「定数割れ」の懸念があったが
勇退を表明していた議員が引退を撤回し届け出ることにより
「定数割れ」は回避

■議長に就任し「定数を論じる委員会」を立ち上げ

- ・無投票となった市議選から2年後、議長選挙へ立候補
- ・次の選挙も「無投票」という残念な結果を繰り返してはいけない
- ・市民から「調査特別委員会設置による議員定数の適正化を求める陳情」が提出

- ・市議会は陳情を受け全会一致で採択
- ・議員定数適正化及び議員報酬等調査特別委員会を設置

■市議会に対する市民の声を聴くためのアンケート調査を実施

発送数：1000枚 回答数：306枚、回答率30.6%

<アンケート内容>

現在の議員定数についてどう思われますか。

減らすべきである。：150

現在のままでよい。：88

増やすべきである。：4

わからない。：61

現在の報酬額（275,000円）であなたは議員を目指そうと思いませんか。

思わない。：125

わからない。：89

思う。：74

あなたは、議員として市民のための頑張ってみたいと思いませんか。

思わない。：246

条件が整えばやってみたい。：31

ぜひやってみたい。：5

■取り組みについて

生まれて良かった、住んで良かった枕崎を目指して

- ・市民と市議会との意見交換会を実施。

<さいごに>









今回、議員となり初めて全国市議会議長会研究フォーラムに参加させて頂いた。統一選挙の検証と地方議会の課題という内容で話を進められた。中でも、女性議員の成り手が少ないこと、その中でも、今回の統一地方選挙では、女性議員が増えたことを話されていた。また、女性議員

に対するセクハラ、パワハラ等の話しがあり、議員になる前のつらい話
しと、議員になってからのつらい話をされていた。これまでもそう
であるが、これからもハラスメントの対策はしっかりと進めていくことが
必要であると改めて認識した。

基調講演、パネルディスカッションと有意義な内容で、とても勉強に
なった。

以上。

支出命令書 (一般)

市長 **	副市長 **	教育長 **	部長 **	次長 **	課長 	課長補佐 	係長 	担当者 
会計管理者 	会計課長 	課長補佐	係長 	担当者 **	入力 	財政課合議 **	検収者	


起票日	令和 5年 10月 17日	所 属	080100 市議会事務局
年度	令和 5 年度	会計	01 一般会計
		予算区分	0 現年度
科 目	款	01 議会費	
	項	01 議会費	
	目	01 議会費	
	事業	040000 議会調査研究事業	
	節	18 負担金、補助及び交付金	
	細節	90 その他	
	細々節	06 政務活動費	

金額	27,380 円	控除	所得 税	0 円	タイムカード(出勤簿)確認
支払回数	20 回		雇用 保険料	0 円	源泉徴収確認
負担行為額	1,200,000 円		そ の 他	0 円	被服貸与台帳記載確認
支出命令済額	569,404 円	請求書番号	控除額合計	0 円	通勤経路及び金額確認
負担行為残額	630,596 円				
源泉支払内容	*****				

件名 10/25~10/26 福岡県北九州市 第18回全国市議会議長会研究フォーラム参加負担金

摘要 池辺議員9,000円 村田議員9,000円 井上議員9,000円 振込手数料380円

債 権 者 等	支払方法	21 現金払	支払希望日	令和5年 10月30日
	住所			
	名称	泉大津創志会代表者 池辺 貢三		
	役職等/氏名			
	銀行/口座			
	口座名義人		債権者番号	

領 収	住 所		領 収 印	
	氏 名	泉大津創志会代表者 池辺貢三		

上記の金額を領収しました。令和5年 10月 30日

支払済

支出負担行為
確認

泉大津市 会計管理者 あて

001

負担行為番号

05-002637

伝票番号

呼出番号

05-012229








整理番号

05-000012-20

00544342



05 01 01-01-01 04-00-00 18-90-06


供	議長	副議長	局長	次長	次長 補佐	議事調 査係長	庶務 係長	主査
覧								

別記様式第5号(第4条関係)

政務活動費交付請求書

令和5年10月10日

泉大津市長
南出賢一様
(泉大津市議会議長経由)

会派名 泉大津創志会
代表者名 池辺貢三 

政務活動費交付請求書

泉大津市議会政務活動費の交付に関する規則第4条の規定により、下記のとおり政務活動費を請求します。

記

交付請求額	27,380円		
内 訳	10/25~10/26 福岡県北九州市 第18回全国市議会議長会研究フォーラム参加負担金及び 振込手数料		
支払先	(株)JTB		
予算科目	研究研修費	交付残額	630,596円
使用者名	池辺 貢三、村田 雅利、井上 信久		

泉大津市議会 池辺 貢三 様

請求書番号 35331672-1-122

発行日 2023/10/04

取引年月日 2023年10月25日・26日

請求書

株式会社JTB

北九州支店

〒802-0005

福岡県北九州市小倉北区堺町1-1-1

JTB小倉ビル7階

支店長 加倉井 良多

第18回全国市議会議長会研究フォーラムin北九州

毎度、当社をご利用くださりまして、誠にありがとうございます。
このたびのお取引につきましては、下記のとおりご請求申し上げます。

10月23日(月) までに、お支払いいただきますようお願いいたします。

なお、請求内容につきましてご不明な点がございましたら、請求書受領後
お早めにご連絡をお願いいたします。

ご請求内訳	人数	金額(税込)	税率・税額
フォーラム参加費(不課税)		¥9,000	消費税対象外
合計(うち消費税)		¥9,000	
10%対象小計			
8%対象小計 ※軽減税率対象			
消費税対象外		¥9,000	
内 入 金 額			

ご請求額

¥9,000

* 振込手数料はお客様にてご負担下さいますようお願いいたします

振込口座

【銀行名】

【預金種別】

【口座名義】

【支店名】

【口座番号】

【お客様番号】 122

* お名前の前にお客様番号をご入力ください。

泉大津市議会 村田 雅利 様

請求書番号 35331673-1-122

発行日 2023/10/04

取引年月日 2023年10月25日・26日

請求書

株式会社JTB

北九州支店

〒802-0005

福岡県北九州市小倉北区堺町1-1-1

JTB小倉ビル7階

支店長 加倉井 良多

第18回全国市議会議長会研究フォーラムin北九州

毎度、当社をご利用くださりまして、誠にありがとうございます。
このたびのお取引につきましては、下記のとおりご請求申し上げます。

10月23日(月) までに、お支払いいただきますようお願いいたします。

なお、請求内容につきましてご不明な点がございましたら、請求書受領後
お早めにご連絡をお願いいたします。

ご請求内訳	人数	金額(税込)	税率・税額
フォーラム参加費(不課税)		¥9,000	消費税対象外
合計(うち消費税)		¥9,000	
10%対象小計			
8%対象小計 ※軽減税率対象			
消費税対象外		¥9,000	
内 入 金 額			

ご請求額

¥9,000

*振込手数料はお客様にてご負担下されますようお願いいたします

振込口座

【銀行名】

【預金種別】

【口座名義】

【支店名】

【口座番号】

【お客様番号】 122

*お名前の前にお客様番号をご入力ください。

泉大津市議会 井上 信久 様

請求書番号 35331676-1-122

発行日 2023/10/04

取引年月日 2023年10月25日・26日

請求書

株式会社JTB

北九州支店

〒802-0005

福岡県北九州市小倉北区堺町1-1-1

JTB小倉ビル7階

支店長 加倉井 良多

第18回全国市議会議長会研究フォーラムin北九州

毎度、当社をご利用くださりまして、誠にありがとうございます。
このたびのお取引につきましては、下記のとおりご請求申し上げます。

10月23日(月) までに、お支払いいただきますようお願いいたします。

なお、請求内容につきましてご不明な点がございましたら、請求書受領後
お早めにご連絡をお願いいたします。

ご請求内訳	人数	金額(税込)	税率・税額
フォーラム参加費(不課税)	-	¥9,000	消費税対象外
合計(うち消費税)		¥9,000	
10%対象小計			
8%対象小計 ※軽減税率対象			
消費税対象外		¥9,000	
内入金額			

ご請求額

¥9,000

*振込手数料はお客様にてご負担下されますようお願いいたします

振込口座

【銀行名】

【預金種別】

【口座名義】

【支店名】

【口座番号】

【お客様番号】 122

*お名前の前にお客様番号をご入力ください。

第18回全国市議会議長会研究フォーラム in 北九州

令和5年10月4日

フォーラムご参加者様 各位

請求及び受領委任状兼口座振替依頼書

東京都千代田区平河町2丁目

第18回全国市議会議長会研究フォーラム実行委員会

委員長 坊 恭 規

第18回全国市議会議長会研究フォーラム in 北九州の参加費の請求及び受領につきましては、次のものに業務委託（委任）しておりますので、お手数をおかけいたしますが、下記の銀行口座に振り込みをお願いいたします。

記

1. 振込先銀行

福岡銀行

2. 口座名義

福岡銀行

3. 受任者

福岡県北九州市小倉北区堺町1-1-1

JTB小倉ビル7階

株式会社JTB北九州支店

支店長 加倉井 良多

※参加費は1人につき9,000円（不課税・消費税対象外）となります。

だいしん キャッシュサービス
ご利用明細票

本日はご利用いただきありがとうございます。
ご利用明細票をご確認のうえ、お持ち帰りください。
裏面もご覧ください。

お取扱日	取扱金額・店番・通番						
05 11 01	16300747-2203						
お取引店	□ 座 番 号						
お取引金額	万円	2千円	1千円	2千円	0千円	3千円	1
取引内容	振込						0
手数料	¥380		お取引金額				
時刻	12:50		¥27,000*				
説明コード	お取引後残高						

ご受取人

様










ご依頼人

イヌミオオツシキカイイヌミオオツシ
カイ 様 0725331131

印紙税申告納
付に
税務署承認済

大阪信用金庫

支出命令書 (一般)

市長 **	副市長 **	教育長 **	部長 **	次長 **	課長 	課長補佐 	係長 	担当者 
会計管理者 	会計課長 	課長補佐 	係長 	担当者 **	入力 	財政課合議 **	検収者	


起 票 日	令和 5年 10月 23日	所 属	080100 市議会事務局
年 度	令和 5 年度	会 計	01 一般会計
予 算 区 分	0 現年度		
科 目	款	01 議会費	
	項	01 議会費	
	目	01 議会費	
	事 業	040000 議会調査研究事業	
	節	18 負担金、補助及び交付金	
	細 節	90 その他	
	細々節	06 政務活動費	

金 額	2,460 円	所 得 税	0 円	タイムカード(出勤簿)確認
支 払 回 数	21 回	控 除	雇 用 保 険 料	0 円
負 担 行 為 額	1,200,000 円	そ の 他	0 円	源泉徴収確認
支 出 命 令 済 額	571,864 円	控 除 額 合 計	0 円	被服貸与台帳記載確認
負 担 行 為 残 額	628,136 円	請 求 書 番 号		通勤経路及び金額確認
源 泉 支 払 内 容	*****			

件 名	資料費 令和5年度電子複写機使用料金 (4~9月分) 5
-----	------------------------------

摘 要	
-----	--

債 権 者 等	支 払 方 法	21 現金払	支 払 希 望 日	令和5年 11月 10日
	住 所			
	名 称	泉大津創志会代表者 池辺 貢三		
	役職等/ 氏名			
	銀行/ 口座			
口 座 名 義 人		債 権 者 番 号		

領 収 氏 名	住所	領 収 印
泉大津創志会代表者 池辺貢三		

上記の金額を領収しました。

支 払 済

令和5年 11月 10日

泉大津市 会計管理者 あて

支 出 負 担 行 為 確 認

001

負担行為番号

05-002637

伝票番号

05-012636

整理番号








05-000012-21

呼出番号

00545483



05 01 01-01-01 04-00-00 18-90-06

供	議長	副議長	局長	次長	次長補佐	議事調査係長	庶務係長	主査
覧								

別記様式第5号 (第4条関係)

政務活動費交付請求書

令和5年10月23日

泉大津市長
南出賢一様
(泉大津市議会議長経由)

会派名 泉大津創志会
代表者名 池田重三



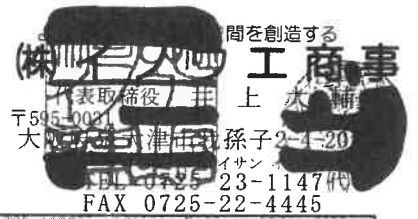
政務活動費交付請求書

泉大津市議会政務活動費の交付に関する規則第4条の規定により、下記のとおり政務活動費を請求します。

記

交付請求額	2,460円		
内 訳	令和5年度電子複写機使用料金(5 ⁵ 9月分)		
支払先	(株)イノウエ商事		
予算科目	資料費	交付残額	628,136円
使用者名	泉大津創志会		

請求書 登録番号 T9120101042177



泉大津創志会

取引先コード	年月日	伝票番号
9999-99	R5.10.23	884572-1

様 22

JOINTEXコード/品名	製品品番/品名	数量	単位	単価	金額	備考
*	11 令和5年度デジタル複合機使用料金(5~9月分)	2,797.00	枚	0.80	2,237	売上
摘要		(内消費税等)		明細合計	2,237	検 印
取引銀行		(消費税込)		消費税額	223	
「※」は軽減税率対象であることを示します。		(10%対象 2,460 消費税)		伝票合計	2,460	

領収証 泉大津創志会

様 No. _____

★ ~~7~~ 2,460 -

但 700-11'

R5年11月10日 上記正に領収いたしました

内 訳
税抜金額
消費税額等(%)

大阪府泉大津市我孫子
株式会社 イノウエ商事
電話0725-23-


登録番号 T9120101042177

内 訳	税率	金額(税抜・税込)	税率	
	%	消費税額等	%	